

かんぽ生命について

経営理念	8
経営の基本方針	9
経営課題への取り組み	9
ビジネス展開	16
CSR重要課題への取り組み	18
ブランド価値向上への取り組み	24

経営理念

経営理念

株式会社かんぽ生命保険の経営理念

お客さまとともに未来を見つめて

「最も身近で、最も信頼される保険会社」を目指します。

1. お客さまへの約束

- ① お客さまとのふれあいを大切にします。
- ② 分かりやすく利用しやすい商品とサービスを提供します。
- ③ お客さまから安心いただけるよう、正確な情報の提供を行います。

2. 株主への約束

- ① 株主の附託に応え、継続的な企業価値の向上を目指します。
- ② 適切なリスク管理により、健全な経営を実現します。
- ③ 株主、投資家の皆さまと密接なコミュニケーションを図ります。

3. 社会への約束

- ① コンプライアンスを最重要視した業務運営を行います。
- ② 健康づくりに積極的に貢献します。
- ③ 人と環境にやさしい事業運営に努めます。

4. 事業パートナーへの約束

- ① 緊密な連携ときめ細かな支援により、共に成長する関係を築きます。
- ② 事業パートナーと一体となって商品とサービスの提供、品質改善を推進します。
- ③ 日本郵政グループの一員としてブランド価値の向上を目指します。

5. 社員への約束

- ① 明るく働き甲斐のある職場環境を作ります。
- ② 社員ひとりひとりを尊重し、等しくチャンスを提供します。
- ③ 社員の能力向上を積極的に支援します。

経営の基本方針

当社は、2007年10月の営業開始以来、「『最も身近で、最も信頼される保険会社』を目指します。」の経営理念のもと、日本郵便株式会社との一体的な事業運営により日本郵政グループの総合力を活かしながら、健全な経営基盤の強化などの経営課題に全社を挙げて取り組んでいます。

経営課題への取り組み

日本郵政グループの一員として、お客さまから選ばれる真に日本一の保険会社を目指し、成長するために必要となる経営基盤を確立するとともに、当社の強みをさらに強固にする商品・サービスの開発に取り組んでまいります。

1 引受から支払まで 簡易・迅速・正確に行う 態勢整備

引受から支払まで簡易・迅速・正確に行う事務・システムを構築し、お客さまのご契約の管理を強化するとともに、質の高いサービスを提供します。

また、ICTの積極活用などにより、事務フローの改善・高度化を推進し、お客さまサービスの向上を目指します。

2 販売チャネルの 営業力強化

すべてのお客さまに安心してご加入いただけるよう、募集品質を確保しつつ、営業社員の増員・育成を強化し、効果的な販売戦略を展開することで、販売チャネルの営業力を「質」・「量」とともに強化していきます。

3 お客さまニーズに 対応した商品開発・ 高齢者サービスの充実

お客さまニーズに対応した商品・サービスを開発することにより、お客さまの利便性を向上するとともに、新契約の拡大につなげていきます。

また、急速に進展する高齢化社会に向けて、「高齢者に優しいビジネスモデル」を構築していきます。

4 運用収益力の向上

資産と負債のマッチングを推進するとともに、許容可能な範囲で運用資産の多様化を進めることにより、収益性の向上を目指します。

5 内部管理態勢の強化・ 人材育成の強化

経営の根幹である「募集品質の確保・コンプライアンスの徹底」を大前提として、内部管理態勢を強化するとともに、人材育成とダイバーシティ・マネジメントを推進することで、当社の健全かつ持続的な成長・発展のための土台づくりを加速します。

かんぽプラチナライフサービス(高齢者を中心としたサービス)の推進

かんぽプラチナライフサービスの目的・趣旨

当社は、すべてのお客さまとの接点をご高齢のお客さまの目線で改革し、「安心感」「信頼感」に基づく「ご高齢のお客さまに優しい」サービスを提供するための取り組み(かんぽプラチナライフサービス)を推進しています。

「かんぽプラチナライフサービス」では、ご高齢のお客さまニーズに対応したサービス提供や商品開発のほか、すべてのお客さま接点について、ご高齢のお客さまの目線で改革を進め、高齢者に優しいビジネスモデルを構築してまいります。

かんぽ プラチナライフサービス

主な取り組み内容

普通養老保険の加入年齢範囲の上限の引き上げ

2015年4月に、よりご高齢のお客さまにも普通養老保険(新フリープラン)にご加入いただけますよう、加入年齢の上限を75歳から80歳に引き上げました。



商品説明時の取り組み

ご高齢のお客さまには、より丁寧で分かりやすい商品説明を心がけています。特に満70歳以上のお客さまへの説明にあたっては、ご家族等に同席をお願いしており、ご家族等に同席いただいたうえで商品内容などの説明をさせていただくことで、お客さまおよびそのご家族等に安心してご加入いただける取り組みを行っています。



ご高齢のお客さまに優しい専用コールセンターの開設

2015年4月に、専用のフリーダイヤル(0120-744-552)を設け、ご高齢のお客さまへ配慮した対応について研修を受けたオペレーターが直接お電話をお受けする、「ご高齢のお客さまに優しい専用コールセンター」を開設しました。

ご高齢のお客さま専用フリーダイヤル

 **0120-744-552**

受付時間

平日 9:00～21:00

土日休日 9:00～17:00

(1月1日～3日を除きます。)

「見やすく」、「分かりやすい」案内の取り組み

2014年10月にお送りしています「保険料払込証明書・ご契約内容のお知らせ」に同封の「ご契約ハンドブック」について、ご高齢のお客さまなどに正しく情報が伝わるよう配色や文字の大きさなどを改善しました。

(NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構のCUDの認証を取得しています。)

また、年金保険の支払開始時にお送りしています「年金支払案内書」についても、ご高齢のお客さまが開封しやすいミシン目入り封書に改善するとともに、内容についてもイラストや図を活用したフルカラーの案内書に改善しました。

(一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会の「UCDA 見やすいデザイン」認証を取得しています。)



2014年版ご契約ハンドブック



CUDの認証証明書



年金支払案内書

タブレット端末の無料講習会の開催

ご高齢の方のITスキル習得による、生活の質(QOL)の向上を目的に特定NPO法人「仙台シニアネットクラブ」とタイアップし、2015年5月・6月に「高齢者向けタブレット端末無料講習会」を開催しました。



講習会の模様(2015年5月・宮城県仙台市)

心のこもったサービス(かんぽつながる安心活動)

当社は、郵便局とともに、お客さまとのあらゆる接点で「心のこもったサービス」をお届けしています。

その一環として「かんぽつながる安心活動」を通じて、ご契約者さまにお会いし、さまざまなサービスを提供することで、お客さまにより一層の満足と信頼をいただけるように取り組んでまいります。



活動の目的・趣旨

これまでの「ご契約内容のフォローアップ活動」をさらに充実させ、お客さまへの訪問活動などを通して、ご契約いただいている保険の保障内容や、ご請求いただける保険金がないかをご確認いただいています。

また同時に、保険金等を簡単・確実にお受け取りいただくための口座として振込先口座指定のご案内、新商品や指定代理請求制度などのご案内をさせていただくことで、お客さまサービスを向上させてまいります。

主な取り組み内容

ご確認

- ご契約内容の確認

連絡先や受取人などの契約内容をご確認いただき、変更が必要な場合には、お手続きのご案内をしています。

お支払い

- お支払い手続きのご案内

満期保険金・生存保険金のお支払いが可能となる日に確実に受け取りいただくため、早期のお支払い手続きや、振込先口座指定のお手続きのご案内をしています。

また、入院保険金等のお支払い事由に該当するご契約がないか、ご契約が複数ある場合にご請求されていないご契約はないかなども、あわせて確認しています。

お知らせ

- 各種サービスのご案内

当社の新商品や保険料の口座払込み・指定代理請求制度など、お客さまのお役に立つサービスをお知らせしています。

- 保障内容の見直しのお手伝い

ライフプランシートをお作りし、保障内容をご確認いただいたり、保障内容の見直しについてお考えいただくことのお手伝いをしています。



この活動を通じて、お客さまから、「請求していない保険金があったことが分かり助かった」、「加入している保険の保障内容を忘れかけていたので、再確認できて良かった」などのお声をいただいています。

現在は、満期保険金や生存保険金のお支払い時期が近いお客さまを中心に活動を展開していますが、

今後はより多くの機会をつくり、お客さまを訪問させていただく予定です。

今後とも、当社では、お客さまへの訪問活動や窓口でのお声かけによって「心のこもったサービス」をお届けし、お客さまにさらにご満足いただけるよう取り組んでまいります。

IBM Watsonを活用した保険金支払業務のさらなる高度化

IBMのもつ最先端コグニティブ・コンピューティング・システムWatson技術を活用し、業務のさらなる高度化の検討を進めてまいります。

具体的には、日本で最大規模の当社の支払審査データや約款、関連法規、過去事例などを分析し、支払の判断についての選択肢を確信度付きで示すなどのシステムサポートにより、審査担当者がより迅速

かつ正確に支払業務を実施できるようにするなどの検討を進めます。

今後とも、当社はサービス水準の向上などを通じて、経営理念である「最も身近で、最も信頼される保険会社」を目指してまいります。

※コグニティブ・コンピューティングとは
コンピュータが自らさまざまな情報を関連付けて分析・学習し、自ら導き出した予測結果をその評価や根拠などとともに意思決定支援をすることなどができる技術

短期払養老保険の認可取得

当社は、短期払養老保険（保険期間に比して保険料払込期間が短期となる普通養老保険）の販売について、郵政民営化法第138条第1項の規定に基づき、金融庁長官および総務大臣に対し、2015年2月19日に認可申請を行い、同年4月15日に認可を取得しました。

同年10月より「10年払込15年満期養老保険」（普通養老保険のうち保険期間が15年で保険料払込期間が10年となるもの）の取り扱い開始を予定しており、お客さまの利便性向上や当社の経営の安定に寄与するものと考えています。

ダイバーシティの推進

当社は、「お客さまから選ばれる真に日本一の保険会社」づくりのひとつとして「明るく働き甲斐のある職場環境の創出」を掲げています。

この実現のため、これまでも女性社員活躍のためのセミナーの開催や子育て支援のための施策の展開、障がいをお持ちの方の積極的採用などに取り組んでいます。

また、2015年4からは、ワーク・ライフ・バランスの一層の推進のため、短時間社員制度の創設や働き方の見直しプロジェクトを行っています。

これらの取り組みのさらなる推進を図るため、人事部内に『ダイバーシティ推進室』を設置し、社員が明るく元気に働き、それぞれの能力を最大限に発揮できる環境づくりに努めてまいります。



キャリアビジョン研修



データ入力に従事する
障がいを持つ社員

学資保険「はじめのかんぽ」の発売

1971年9月、当時の郵政省で販売を開始して以来、当社の学資保険は多くの方にご愛顧いただいてまいりました。2014年4月からは、日々多様化するお客さまニーズに応えるべく、商品内容を改定した学資保険「はじめのかんぽ」(正式名称:「学資保険(H24)」および「学資保険(H24)(保険料払込免除なし型)」)を発売しました。



商品の特長

- **特長1:高い貯蓄性**

従来の商品と比較して、戻り率(受取総額÷払込保険料総額)が向上したことで、学資金を効率的にご準備できます。

- **特長2:出生前加入制度**

出生予定日の140日前からご加入いただけます。

- **特長3:選べる3つのコース**

学資金の準備目的に応じて、次の3つのコースからお選びいただけます。

18歳満期※
「大学入学時」の学資金準備コース

学資祝金付18歳満期※
「小・中・高+大学入学時」の
学資金準備コース

学資祝金付21歳満期
「大学入学時+在学中」の
学資金準備コース

※17歳満期もあります。

※17歳満期もあります。

日本郵政株式会社とアフラックの業務提携

2013年7月26日、日本郵政株式会社とアフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)は、業務提携を行うことで基本合意しました。

がん保険に係る新規業務

当社は、アフラックのがん保険の受託販売および日本郵便に対するがん保険の取り扱いに係る教育・指導について、郵政民営化法第138条第3項の規定に基づき、金融庁長官および総務大臣に対し、2014年4月16日に認可申請を行い、同年6月27日に認可を取得しました。

同年7月よりこれらの業務を開始しており、お客さまの利便性向上や当社の経営の安定に資するものと考えています。

日本郵政グループ向け専用商品の販売開始

2014年10月1日から、アフラックが日本郵政グループ向けに開発した新たながん保険「新 生きるためのがん保険Days(JPオリジナルプラン)」の販売を開始しています。



法令等遵守の徹底に向けた取り組み

当社の業務委託先である日本郵便株式会社において不祥事件が発生したことに関連し、当社および日本郵便株式会社の内部管理態勢の充実・強化について、2009年12月4日に、金融庁から法令等遵守に取り組む経営姿勢の明確化など8項目について、保険業法第132条第1項に基づく業務改善命令を受けました。

お客さまをはじめ、関係の皆さまにご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社は、この業務改善命令を厳粛に受け止め、2010年1月6日に、内部管理態勢の充実・強化のための「業務改善計画」を策定して金融庁へ提出し、現在、全力を挙げて取り組んでいます。

業務改善計画に基づいた取り組みについて

業務改善計画に基づき、できる限り現金取扱の機会を減らすためのキャッシュレス化の推進、領収証・受付証の交付手続きについて広くお客さまに知っていただくための周知の促進、お支払い内容などについてお客さまに確認していただくための確認依頼書

の拡充、eラーニングによる社員研修など、内部管理態勢の充実、強化施策に着実に取り組んでいます。

業務改善計画の進捗状況については、経営陣主導で推進管理を行っており、必要な措置を講じています。

「簡易生命保険」および「かんぽ生命保険」をご利用のお客さまへ

1) 当社の社員または日本郵便株式会社の社員が現金、保険証券などをお預かりするときは、その証として「保険料領収証」、「保険料充当金領収証」、「受付証」などの所定の用紙をお客さまにお渡ししていますので、必ずご確認ください。

ご不明な点がございましたら、かんぽコールセンター(P92参照)までご連絡ください。

2) お客さまの利便性の一層の向上等を図るため、かんぽ生命の保険契約および簡易生命保険契約の保険金等をお支払いする際は、ゆうちょ銀行等金融機関口座へのお振り込みとさせていただきます。

また、保険料のお払い込みには、ゆうちょ銀行等金融機関の口座利用や送金扱いが便利ですので、ぜひご利用ください。

ビジネス展開

事業運営の枠組み

当社は、全国津々浦々に設置されている郵便局を商品ご提供や各種お手続きサービスの拠点として、お客さまに喜んでいただけるサービスを提供してまいります。

当社商品・サービスのご提供の拠点

当社は、代理店チャンネル(事業パートナーである日本郵便株式会社(郵便局)、簡易郵便局)および直営店チャンネル(当社の支店)を販売チャンネルとして事業展開を図っています。

代理店チャンネル

日本郵便株式会社は、全国津々浦々に設置されている郵便局を拠点として保険募集を行っています。郵便局においては、住域・個人マーケットを中心にシンプルで分かりやすい商品(小口・簡易)・サービスを全国のネットワークを活かしてご提供します。

当社においては、直営店76カ所(2015年4月末現在)に代理店支援のための組織(パートナー部)を設置し、営業推進のための支援、教育研修および事務支援を行っています。また、当社の特長を活かしつつお客さまニーズに対応した商品開発、マーケット／チャンネル開拓、営業プロセスの高度化を日本郵便株

式会社とともに一体となって推進してまいります。

なお、2015年3月末現在の生命保険募集を行う郵便局は、20,076局です。

簡易郵便局(郵便窓口業務等受託者)においては、郵便局チャンネルと同様にシンプルで分かりやすい商品・サービスをご提供します。

なお、2015年3月末現在の生命保険募集委託契約を締結している簡易郵便局は、624局です。

(注)このほか、郵便局に対してお客さまを紹介する業務を行う簡易郵便局があります。

直営店チャンネル

直営店の法人営業部は、全国の主要都市76カ所(2015年4月末現在)に設置しており、主に中小企業などの法人・職域マーケットを中心に自社商品やサー

ビスをご提供するとともに、他の生命保険会社の法人向け商品も取り扱っています。

各種お手続きの拠点

当社とのご契約(かんぽ生命保険契約)について、保険料の収納や保険金のお支払いなど各種お手続きについては全国津々浦々に設置されている郵便局においてサービスを提供しています。

また、当社は、民営化に伴い、日本郵政公社から簡易生命保険契約を承継した「独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構(以下本誌において「管理

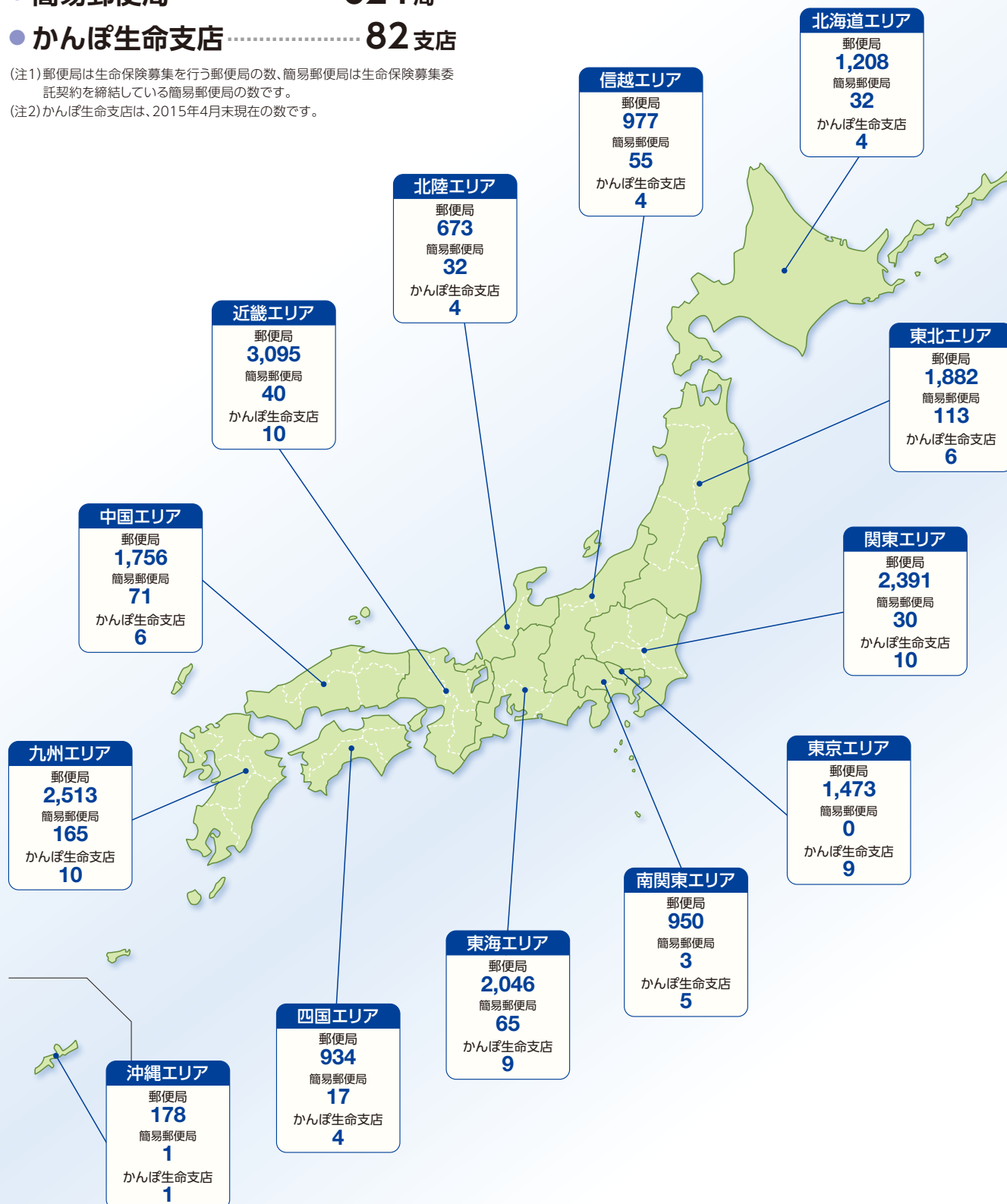
機構」といいます。))から、簡易生命保険契約の管理業務を受託しています。管理機構から受託した業務のうち、保険料の収納や保険金等のお支払いなど受託業務の一部を日本郵便株式会社へ再委託を行うことにより、民営化前と変わりなく郵便局でサービスを提供しています。

全国に広がる郵便局ネットワークとかんぽ生命の拠点数(2015年3月末現在)

- 郵便局 20,076局
- 簡易郵便局 624局
- かんぽ生命支店 82支店

(注1) 郵便局は生命保険募集を行う郵便局の数、簡易郵便局は生命保険募集委託契約を締結している簡易郵便局の数です。

(注2) かんぽ生命支店は、2015年4月末現在の数です。



CSR重要課題への取り組み

当社は、公共性の高い生命保険事業を営む企業として、お客さまからの信頼と安心を護り育てていくため、「社会、地域社会への貢献の推進」、「人に優しい事業環境の整備」、「環境保全活動の推進」の3つの柱を中心に社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

社会、地域社会への貢献の推進

当社は「社会、地域社会への貢献の推進」のなかでも特に、「健康づくりへの積極的な貢献」を経営理念に掲げ、86年の歴史を持つラジオ体操などを通じて皆さまの健康づくりを応援しています。

ラジオ体操とかんぽ生命

ラジオ体操は、1928年、当時の逓信省簡易保険局が、国民の健康の保持・増進を図るために、昭和天皇の御即位の大礼を記念して制定しました。

日本郵政公社の民営化により誕生したかんぽ生命は、逓信省やその流れをくむ郵政省・郵政事業庁・日本郵政公社が担ってきた役割を受け継ぎ、NHKおよび

びNPO法人全国ラジオ体操連盟と共同でラジオ体操の普及推進に取り組んでいます。



初期のラジオ体操ポスター
(1929年)



2015年度
ラジオ体操出席カード

主な歴史

1928年	国民保健体操(旧ラジオ体操)の制定。
1951年5月	現行のラジオ体操第一の放送開始。
1952年頃	ラジオ体操出席カードの配布開始。
1953年7月	夏期巡回ラジオ体操会の開始。
1962年10月	1000万人ラジオ体操祭の開始。
1999年9月	みんなの体操を制定。

各種行事を通じたラジオ体操の普及推進への取り組み

1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

ラジオ体操最大のイベントとして、1000万人にもおよぶ人々に一斉にラジオ体操およびみんなの体操を行っていただくという趣旨のもと、「1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を毎年、夏に開催しています。この体操祭の様子はNHKラジオ第1放送・NHK総合テレビで全国に生放送されているほか、NHKの国際放送を通じて海外にも放送されています。

2014年度は、8月3日に兵庫県神戸市須磨区の神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で「第53回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を開催しました。

当日は、早朝からの開催にもかかわらず、全国のラジオ体操ファンの皆さまや、地元の小学生やその保護者の皆さまなど約8,000人の方々にご参加いただきました。



「第53回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」の様相(2014年8月3日・兵庫県神戸市)



2015年度は、
8月2日(日)、
石川県金沢市
での開催です。

夏期巡回・特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

毎年7月20日から8月31日までの43日間、全国43会場(1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭を含む。)において「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催しています。

夏休み期間中にラジオ体操をする風景は、日本の夏の風物詩として浸透しており、各会場とも極めて盛況です。

また、毎年4月から10月末(「夏期巡回」の期間を除く。)の日曜日や祝日を中心に、全国10会場程度で「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催しています。

これらの体操会の模様は、NHKラジオ第1放送で全国に放送されています。

(注) 2015年度の夏期巡回・特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会などの日程は、かんぽ生命ホームページ(<http://www.jp-life.japanpost.jp/>)に掲載しています。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会の模様(2014年10月5日・北海道長万部町)



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の模様(2014年8月28日・埼玉県久喜市)

全国小学校ラジオ体操コンクールの実施

多くの小学生の皆さまに元気にラジオ体操をしていただく機会を増やし、健康増進に貢献することを目的として、全国の小学生を対象とした「全国小学校ラジオ体操コンクール」を開催しています。

本コンクールでは「日頃のラジオ体操への取り組み」と「ラジオ体操第一の体操風景」を収録した動画をご応募いただき、全体を通して元気良く楽しんでラジオ体操を行っているか、また、そろった動きで正しくラジオ体操ができているかという視点で審査し、入賞チームを決定・発表します。

2014年度に開催した第1回コンクールでは、全国各地の小学校から400チーム以上、5,500名を超える多くの児童の皆さまにご参加いただき、金・銀・銅賞の受賞校ではNHKテレビ・ラジオ体操講師などによる表彰式およびラジオ体操出張授業を実施しました。



第1回コンクール金賞受賞校(山口県山口市立白石小学校)



表彰式・ラジオ体操出張授業の模様

ラジオ体操の小学校出張授業の実施

ラジオ体操を通じて、子どもの健全な育成を支援するとともに一層のラジオ体操の普及推進を図ることを目的としてNHKテレビ・ラジオ体操講師およびアシスタントを小学校に派遣し、「ラジオ体操の小学校出張授業」を実施しています。

2014年度は全国の小学校18校で実施しました。当日参加した児童からは、「体を動かす大切さを実感できた」「とても楽しかった!」などの感想が聞かれました。



出張授業の様様(2014年9月8日・神奈川県葉山町立一色小学校)

ラジオ体操☆おでかけワンポイントレッスン

ラジオ体操☆おでかけワンポイントレッスンは、ラジオ体操指導者・指導委員が企業などにうかがってラジオ体操の動きのポイントや効果について実技指導を行うイベントです。

2014年度は17の企業などでレッスンを実施しました。参加した方々からは「しっかりやってみるとかなりハードな体操だということを感じました」や「社内で地道にこの経験を広めていきたい」といった感想をいただくなど、皆さまの健康増進のお手伝いをしています。



キッコーマン株式会社さま



株式会社リクルートキャリア
さま

みんなの健康トークライブ2015

2014年度は、3月15日に東京都千代田区で「かんぽ生命みんなの健康トークライブ2015」を開催しました。当日は、「生活習慣病の予防法」をテーマとして、東京逋信病院の平田恭信院長より、日常の運動の大切さについて講演を行いました。

また、「こころと体の健康づくり」をテーマとしたミニトークショーを開催し、元バドミントン日本代表の潮田玲子さんより「アスリートとしての体調管理法」について楽しいお話をいただきました。



みんなの健康トークライブの様様

かんぽ生命 presents マラソン大会

2014年度は、横浜市内で開催された「第2回日産スタジアムランニング合コン・5時間耐久リレーマラソン」(6月7日)、「第2回ウィークデーマラソンinこどもの国」(11月25日)、「2015こどもの国リレーマラソン〜真冬のチャレンジ42.195〜」(1月31日)を特別協賛しました。

各マラソン大会のスタート前にはラジオ体操のワンプointトレッスンも実施し、皆さまの健康づくりを応援しました。



第2回日産スタジアムランニング合コン・5時間耐久リレーマラソンの模様

各拠点での地域社会貢献の取り組み

当社の全国の各拠点において、社員のボランティアにより地域の清掃活動への参加や献血活動などの社会貢献活動に取り組んでいます。

【活動例】

各拠点周辺での清掃活動

各拠点の自主的な活動として定期的に清掃活動に取り組んでいます。また、地域の「一斉清掃」の活動に参加し、地域の皆さまと一緒に美化活動に取り組みました。2014年度は68の拠点で延べ137回実施しました。



清掃活動の模様(福岡サービスセンター)

献血活動への協力

2014年度は62の拠点で献血活動に協力しました。

ボランティアウォークへの参加

2014年度は12の拠点で社員やその家族が、遺児支援のために歩く「あしながPウォーク」に参加しました。



清掃活動の模様(鹿児島支店)

収集ボランティアの実施

2014年度は66の拠点でペットボトルキャップや使用済み切手などを収集し、社会福祉協議会などへ寄贈しました。



清掃活動の模様(本社)

人に優しい事業環境の整備

子育て支援イベントの開催

「もっと楽しく子育てに取り組んでもらいたい」との願いを込めた、親子で楽しむ子育てイベント「かんぽ キッズスマイルワールド®」を2015年2月7日・8日に石川県かほく市で開催しました。

当日は、ぶんぶんボウルと小野梨沙さんによるラジ体操ステージや、地元のダンスチームの子どもたちによるステージ、子どもたちが「将来こうなりたい」と夢を込めた「夢てがた」作りのワークショップなど、親子で楽しめる遊び場や思い出づくりの場としてさまざまなプログラムを提供し、来場された多くの方々に楽しんでいただきました。



かんぽ キッズスマイルワールド®の模様

かんぽ Healthy Café

2013年度に引き続き、「食」を通じた健康づくりをテーマに、レシピ投稿サイト「クックパッド」とのタイアップによるヘルシーカフェレシピコンテストを行いました。レシピコンテストでの受賞メニューは東京の「Shibuya Cafe Manduka」(11月13日～17日)・大阪の「Abeno Jambuka」(11月20日～24日)で開催した期間限定のイベント「かんぽ Healthy Café」でメニュー化しました。

店内は開催初日から多くの方にご来店いただき、盛況のうちに終了しました。



環境保全活動の推進

省エネルギーへの取り組み

地球温暖化対策の一環として、当社が所有する施設において、省エネルギー診断の結果などに基づき、機器・設備の改修や運用改善などを継続的に実施することにより、省エネルギーによるCO₂排出量の削減に努めています。

また、基本的な省エネ活動を全社的に推進するた

め、省エネルギーのための具体的な取り組みをまとめた「ガイドブック」を作成し、全社員がこのガイドブックに基づいた省エネルギーへの取り組みを実施することにより、CO₂排出量やコピー用紙使用量の削減に努めています。

「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧提供による環境保全への貢献

2014年10月2日から「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧による提供を開始しています。

従来、「ご契約のしおり・約款」はすべてのお客さまに冊子で提供していましたが、「Web閲覧」も選択可能とすることにより、お客さまが希望すれば、冊子の受領に代えて、当社ホームページ上でPDF版の「ご契約のしおり・約款」を確認することが可能になりました。

お客さまに「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧をご利用いただくことにより、従来の冊子が不要となるため、紙の使用量を削減することができます。2015年7月には、2014年10月～2015年3月の6カ月間で、「ご契約のしおり・約款」のWeb閲覧をご利用いただいたお客さまの数に応じて、森林の育成に取り組む環境保護団体(合計13団体)に対して総額930万円の寄付を行いました。

JPの森づくり

日本郵政グループは、2008年度から「JPの森づくり運動」を展開しています。具体的には、全国の日本郵政グループのネットワークを基盤として、NPO法人や自治体などと協働し、森林育成から環境教育まで幅広い活動を通して持続可能な森林の育成に取り組んでいます。

この「JPの森づくり運動」の一環で、グループ社員による植樹・育林活動(広葉樹)を行う場として、NPO法人「どんぐりの会」のご協力のもと、千葉県君津市に「JPの森(久留里ドングリの森)」を設け、社員ボランティアなどによる活動を行っています。



「JPの森(久留里ドングリの森)」での活動の様相(千葉県君津市)

ブランド価値向上への取り組み

当社は、夢に向かって挑戦する人生を応援したさまざまな宣伝活動を通して、ブランド価値の向上に取り組んでいます。

人生は、夢だらけ。

人生は、夢だらけ。

『人生は、夢だらけ。』というキャッチコピーのもと、前向きに生きるすべての人を応援する企業広告を展開しています。

企業広告キャラクターに女優の能年玲奈さんを起用し、2014年11月から第二弾となる企業CM「いいこと」篇、「ドジ」篇を、全国で放送しました。

「生きていれば、楽しいことやうれしいことだけでなく、失敗することや、泣きたいこともある。それでも、

人生は素晴らしい。」そんなメッセージを、能年さんの等身大の姿とことばで伝えています。

また、全国の郵便局にポスターを掲出するなど、大々的に展開しました。

この企業広告を通じて、お客さま、社会、地域の皆さまの人生を、身近な存在として支えていきたいという当社の想いを広く表現しました。



企業CM「いいこと」篇



企業CM「ドジ」篇



ポスター

夢だらけ。キャラバン

「夢を持って挑戦する人を応援する」という企業メッセージを継続的、そして多面的にお伝えしていくため、「夢」を持ってイキイキと輝きながら働いているかんぽ生命社員、日本郵政グループの社員やそのご

家族の方を企業広告の出演者として紹介しています。広告は、雑誌やキャンペーンWebサイト[<http://www.yumedarake.jp/caravan/>]でご覧いただけます。



「秘書の特技は、右ストレート。」



「日本代表になる。いちばんたのしい宿題です。」



「一人の熱じゃ、熱気球は飛ばない。」

※撮影日時点の情報で掲載しています。

夢をサポートする取り組み

かんぽ生命 夢、応援宣言～宝塚歌劇に協賛～

当社の文化的活動の一環として、夢に向かって挑戦する人生を応援するため、宝塚歌劇月組公演「かんぽ生命ドリームシアター スペクタクル・ミュージカル『1789ーバスティーユの恋人たちー』」に協賛しています。

宝塚歌劇の舞台を通して、皆さまに夢をお届けいたします。



女子プロゴルファー 上田桃子選手 所属契約を締結

2015年3月、当社はプロゴルファーの上田桃子選手の「経験と努力を積み重ね、夢に向かって自分らしく挑戦し続ける」という姿勢に共感し、3年間の所属契約を締結しました。

上田選手は当社の所属選手として、社名入りキャッ

プ・ウェアやキャディバッグとともに、各ゴルフトーナメントに出場しています。

上田選手の今後の飛躍を期して真摯にサポートしてまいります。

夢に向かって頑張る学生を応援!

「全日本学生音楽コンクール」に特別協賛

当社は、音楽文化の発展と、夢に向かって挑戦する学生を応援したいという想いから、全日本学生音楽コンクールに特別協賛をしています。

本コンクールは、音楽を楽しむ心を培うとともに演奏技術の向上を促し、公正な審査によって世界を舞台に活躍する若い才能を発掘して、音楽文化の発展に寄与するという趣旨のもと実施されています。



STUDENT MUSIC
CONCOURS OF JAPAN

かんぽ生命 presents N響第九 Special Concert

当社は、2014年12月27日に、結成後約90年の歴史を有し、その演奏が国際的にも評価の高いNHK交響楽団(N響)による第九演奏会(東京都港区・サントリーホール)を特別協賛しました。

演奏会には最近5年間で最多の1,758名の入場者があり、年末の高揚感と過ぎ行く年の感慨に浸っていただきました。

かんぽ生命は、皆さまの文化活動の支援にも積極的に取り組んでまいります。



N響第九 Special Concertの様様